

明治大学ビジネススクール グローバル・ビジネス研究科シンポジウム

ファイナンスの新潮流

一M&Aと事業リスクマネジメント等に かかる企業価値向上 一

後援: みずほ証券株式会社・みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社

2005年11月9日(水) 14:00~17:30

明治大学駿河台校舎リバティタワー1階リバティホール

「事業リスクマネジメントの新潮流と企業価値創造」

刈屋 武昭(グローバル・ビジネス研究科長)

「M&Aによる企業価値評価とデューデリジェンス」

岡 俊子 (アビームM&Aコンサルティング(株)代表取締役、グローバル・ビジネス研究科兼任講師)

「投資家からみたコーポレートガバナンスと企業価値」

對 孝哉(㈱日本投資環境研究所首席研究員)

◎パネルディスカッション …………………16:00~

上記講演者に次のパネリストを加えたパネルディスカッション

幸田 博人(みずほ証券㈱経営調査部長、明治大学客員教授)

宗國 修治(みずほ第一フィナンシャルテクノロジー㈱金融工学第一部副部長)

河井 聡(弁護士、森・濱田松本法律事務所)

進行)

木村 哲 (グローバル・ビジネス研究科教授)

申込みは不要ですが、会場準備のためFAXまたはE-mailで御連絡いただければ幸いです。 「明治大学ビジネススクール シンポジウム参加希望」と明記(E-mailの場合には必ず表題 に入力してください)し、氏名、職業、郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレスを御記入の うえ、お送りください。FAX 03 (3296) 4321/E-mail guroken@mics.meiji.ac.jp

● お問い合わせ先:明治大学専門職大学院事務室 TEL. 03-3296-2398



講演者・パネリスト



刈屋 武昭(グローバル・ビジネス研究科長)

ー橋大学卒、ミネソタ大学PhD、九州大学理学博士。一橋大学経済研究所教授。みずほ第一フィナンシャルテクノロジー理事、シカゴ大学ビジネススクールなどの客員教授を歴任。日本金融証券計量工学学会および日本不動産金融工学学会設立、現在日本保険・年金リスク学会会長。



岡 俊子(アビームM&Aコンサルティング(株)代表取締役、グローバル・ビジネス研究科兼任講師)

ー橋大学卒、ペンシルベニア大学ウォートン校MBA。米国公認会計士試験合格。内閣府対日投資会議専門部会委員、内閣府経済社会総合研究所M&A研究会委員、青山学院大学大学院法学研究科非常勤講師。企業価値評価やデューディリジェンス、買収後のバリューアップ施策の立案・導入に従事。



関 孝哉 (㈱)日本投資環境研究所首席研究員)

ロンドン大学卒。東洋信託銀行入社後、みずほ証券を経て01年より現職。麗澤大学国際経済学部非常勤講師。主要公的年金および機関投資家向けにガバナンス等に関するコンサルティング業務に携る。著書に「コーポレート・ガバナンスー英国の企業改革」(共著)他論文多数。



幸田 博人(みずほ証券㈱経営調査部長、明治大学客員教授)

1982年一橋大学経済学部卒、日本興業銀行入行。同行金融グループ企画部副参事役、興銀証券企画部長、みずほフィナンシャルグループ グループ戦略第二部参事役を経て、2003年7月より現職。2005年4月よりグローバル・ビジネス研究科客員教授。1992年以降、金融制度改革、金融ビッグバン等資本市場改革の制度調査、市場分析等に従事。



宗國 修治(みずほ第一フィナンシャルテクノロジー(株)金融工学第一部副部長)

早稲田大学大学院修士、スタンフォード大学経営工学修士。1991年日本興業銀行入行、1994年にフィナンシャルエンジニアリング部配属、2003年より現職。事業会社、金融機関等のリスクマネジメント体制高度化コンサルティング、金融工学等の計量的手法を用いた事業戦略コンサルティングに従事。



河井 聡(弁護士、森・濱田松本法律事務所)

1987年東京大学法学部卒。1989年司法研修所修了、弁護士登録(第一東京弁護士会)。1995年米国コロンビア大学ロースクール修了(LL.M.)。1996年米国ニューヨーク州弁護士登録。現在森・濱田松本法律事務所パートナー弁護士。国内外の企業買収及び買収ファイナンスの交渉、戦略的アドバイス並びに紛争対応を専門とする。

パネルディスカッション進行



木村 哲(グローバル・ビジネス研究科教授)

1974年早大理工学部卒。日本興業銀行入行。1998年みずほ第一フィナンシャルテクノロジー取締役投資技術開発部長。この間、優先株評価モデル開発、日本株運用モデル開発、各種企業価値評価モデル研究、アセットアロケーション理論研究、倒産確率推定モデル開発、CBO分析モデル研究等に従事。日本証券計量工学学会理事。